

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2001-338472(P2001-338472A)

【公開日】平成 13 年 12 月 7 日 (2001.12.7)

【出願番号】特願 2001-98937(P2001-98937)

【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 20/10

G 1 0 H 1/00

G 1 0 K 15/04

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 27/00

G 1 1 B 27/10

【F I】

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 1 1 B 20/10 D

G 1 0 H 1/00 1 0 1 C

G 1 0 K 15/04 3 0 2 D

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 27/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】音声信号伝送方法及び伝送されたデータの再生方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オリジナルの楽曲のアナログオ - デイオ信号を A / D 変換してデジタルデ - タ列を生成するステップと、

前記 1 以上のオリジナル楽曲と、前記オリジナルの楽曲とは別に選択的に再生するためのボ - ナス情報とを管理するオ - デイオマネジャ (A M G) と、

楽曲を含むデ - タの単位を 1 つのオ - デイオタイトルとして、再生装置が複数のオ - デイオタイトルにアクセスして楽曲を連続して再生する単位を 1 つのタイトルグル - プとして、

第 1 ~ 第 (n - 1) 番目に設けられ、オリジナルの楽曲を含むオ - デイオタイトルにより構成された 1 以上の第 1 のタイトルグル - プと、

所望時に最終の n 番目に設けられ、ボ - ナス情報を含むオ - デイオタイトルにより構成された 1 つの第 2 のタイトルグル - プと、

前記ボ - ナス情報の第 2 のタイトルグル - プにアクセスするためのデ - タとして、また

、前記ボーナス情報の第2のタイトルグループが存在しないことを示すためのデータとしてのインタラクティブデータと、

再生装置が前記オーディオタイトルをサーチするためのサーチポイントと、

所望時に設けられるビデオファイルであつて、その中のオーディオデータは前記オリジナル楽曲の構成要素である第1のオーディオタイトルとして管理することが許容されるビデオファイルとを、

有するデータ構造にフォーマット化するステップと、

により前記フォーマット化されたデータを伝送回線を介して伝送することを特徴とする音声信号伝送方法。

【請求項2】

請求項1記載の音声信号伝送方法で伝送されたデータの再生方法であつて、

前記ボーナス情報にアクセスするためのインタラクティブデータを入力するステップと

、
前記入力インタラクティブデータと関係なく前記サーチポイントに基づいて第1のタイトルグループにアクセスして前記オリジナルの楽曲を再生するとともに、前記入力インタラクティブデータと前記記録されたインタラクティブデータが一致した場合に前記サーチポイントに基づいて第2のタイトルグループにアクセスして前記ボーナス情報を再生するステップと、

からなる再生方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、マルチチャネルの音声信号を通信回線を介して伝送する方法及びその伝送されたデータの再生方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、ディスクに記録されたデータばかりでなく、通信回線を介して伝送されてデータを再生装置、つまり、受信装置側で再生する場合も、同様の問題があり、本発明では、前記の問題を解決した音声信号の伝送方法及びその伝送されたデータの再生方法を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明は、以下の1) 及び 2) の手段より成るものである。

すなわち、

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

1) オリジナルの楽曲のアナログオ - デイオ信号を A / D 変換してデジタルデ - タ列を生成するステップと、

前記 1 以上のオリジナル楽曲と、前記オリジナルの楽曲とは別に選択的に再生するためのボ - ナス情報とを管理するオ - デイオマネジャ (A M G) と、

楽曲を含むデ - タの単位を 1 つのオ - デイオタイトルとして、再生装置が複数のオ - デイオタイトルにアクセスして楽曲を連続して再生する単位を 1 つのタイトルグループとして、

第 1 ~ 第 (n - 1) 番目に設けられ、オリジナルの楽曲を含むオ - デイオタイトルにより構成された 1 以上の第 1 のタイトルグループと、

所望時に最終の n 番目に設けられ、ボ - ナス情報を含むオ - デイオタイトルにより構成された 1 つの第 2 のタイトルグループと、

前記ボ - ナス情報の第 2 のタイトルグループにアクセスするためのデ - タとして、また、前記ボ - ナス情報の第 2 のタイトルグループが存在しないことを示すためのデ - タとしてのインタラクティブデ - タと、

再生装置が前記オ - デイオタイトルをサ - チするためのサ - チポイントと、

所望時に設けられるビデオファイルであつて、その中のオ - デイオデ - タは前記オリジナル楽曲の構成要素である第 1 のオ - デイオタイトルとして管理することが許容されるビデオファイルとを、

有するデータ構造にフオ - マット化するステップと、

により前記フオ - マット化されたデ - タを伝送回線を介して伝送することを特徴とする音声信号伝送方法。

2) 請求項 1 記載の音声信号伝送方法で伝送されたデータの再生方法であつて、

前記ボーナス情報にアクセスするためのインタラクティブデータを入力するステップと

、
前記入力インタラクティブデータと関係なく前記サーチポイントに基づいて第 1 のタイトルグループにアクセスして前記オリジナルの楽曲を再生するとともに、前記入力インタラクティブデータと前記記録されたインタラクティブデータが一致した場合に前記サーチポイントに基づいて第 2 のタイトルグループにアクセスして前記ボーナス情報を再生するステップと、

からなる再生方法。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

図 16 は本発明に適用されるエンコード装置を示している。オリジナルの楽曲、カラオケ音楽、BGM などのオーディオ信号 A は A / D 変換器 31 によりデジタル信号に変換され、次いで信号処理回路 32 に印加される。信号処理回路 32 及びメモリ 33 はこのデジタルオーディオ信号を、圧縮を行わない場合にはそのまま D V D 符号化回路 34 に出力し、他方、圧縮を行う場合には圧縮を行って D V D 符号化回路 34 に出力する。また、ビデオ信号 V 及び静止画信号 S P は A / D 変換器 31 V によりデジタル信号に変換され、次いで信号処理回路 32 に印加される。信号処理回路 32 及びメモリ 33 はこのデジタル静止画信号を M P E G フォーマットにエンコードして D V D 符号化回路 34 に出力する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明が適用される情記録媒体の第 1 の実施形態として DVD - オーディオディスクのフォーマットを示す説明図である。

【図 2】

図 1 の AMGI (オーディオ・マネージャ・インフォメーション) と AOTT - SRPT (オーディオ・オンリ・タイトル・サーチ・ポインタ・テーブル) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 3】

図 2 の AOTT - SRPTI (オーディオ・オンリ・タイトル・サーチ・ポインタ・テーブル・インフォメーション) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 4】

図 2 の AOTT - SRP (オーディオ・オンリ・タイトル・サーチ・ポインタ) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 5】

図 4 の ATT - CAT (オーディオ・タイトル・カテゴリ) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 6】

図 1 の ATS (オーディオ・タイトル・セット) と ATSI (オーディオ・タイトル・セット・インフォメーション) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 7】

図 6 の AOTT - AOB (オーディオ・オンリ・タイトル用オーディオ・オブジェクト・セット) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 8】

図 6 の ATS - PGCI (ATS プログラム・チェーン・インフォメーション・テーブル) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 9】

図 8 の ATS - PGCI (ATS プログラム・チェーン・インフォメーション) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 10】

図 9 の ATS - PGCGI (ATS - PGCG ジェネラル・インフォメーション) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 11】

図 9 の ATS - PGIT (ATS プログラム・インフォメーション・テーブル) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 12】

図 11 の ATS - PGI (ATS プログラム・インフォメーション) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 13】

図 9 の ATS - C - PBIT (ATS セル・プレイバック・インフォメーション・テーブル) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 14】

図 13 の A T S - C - P B I (A T S セル・プレイバック・インフォメーション) のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 15】

再生側から見た楽曲のデータ構造を示す説明図である。

【図 16】

本発明に適用されるエンコード装置を示すブロック図である。

【図 17】

本発明に適用される再生装置を示すブロック図である。

【図 18】

再生処理を説明するためのフローチャートである。

【図 19】

図 18 のグループ再生処理を詳しく説明するためのフローチャートである。

【図 20】

本発明が適用される情報記録媒体の第 2 の実施形態として D V D - A v d ディスクのフォーマットを示す説明図である。

【図 21】

信号処理回路 32 及び D V D 符号化回路 34 の動作フロー図である。

【図 22】

D V D 復号回路 42 及び信号処理回路 43 の動作フロー図である。

【図 23】

データの伝送時の処理手順を示すフローチャートである。

【図 24】

データの受信時の処理手順を示すフローチャートである。

【図 25】

情報記録媒体が D V D ディスクである場合の具体的再生装置の概略ブロック図である。

【図 26】

情報記録媒体の他の例を示す図である。

【符号の説明】

- 32 信号処理回路
- 34 D V D 符号化回路
- 35 変調回路
- 61 表示部
- 62 操作部 (入力手段)
- 63 制御部 (再生手段)